



# 特集

## 『水と森の財政学』(日本経済評論社刊) 出版記念ワークショップ

### ‘水と森’の財政・ 公共政策・ガバナンス

---

本特集は、諸富徹・沼尾波子編『水と森の財政学』日本経済評論社（2012年5月）の刊行を記念して、2012年8月2日に、横浜市みなとみらい地区の「パシフィコ横浜」を会場として実施されたワークショップ「‘水と森’の財政・公共政策・ガバナンス」の記録である。

このワークショップは、上記著作の発刊にともなう成果発表の意味合いとともに、水と森の保全や再生に向けた公的管理の仕組みや、その財源確保をどのようにすればよいのか、また、水と森の公的管理・保全について、全国に先駆けて水源環境保全税を導入した神奈川県を試みを主たる素材として、水と森に関わる財政学的アプローチの可能性を探る、といった問題意識に基づいて開催された。

- 〔第1部〕 水源／森林環境税の成果と展望
- 〔第2部〕 水資源管理のあり方
- 〔第3部〕 総合討論：水源環境税のガバナンス

ワークショップでは上記のように全体が3部構成に分かれ、それぞれテーマごとに上記著作の執筆者が順番に報告を行った。次に、招聘討論者より報告に対するコメントが行われ、それらを受けてフロアーを交えた討論が活発に行われた。

『財政と公共政策』編集委員会

---